

STEM人材の育成に向けた地域資源を活用した 地域クラブの提案

株式会社Griteen

提案の背景

教員の負担軽減の観点からスポーツ庁・文化庁より部活動の地域移行の指針が示されており、つくば市では2025年末までに休日の部活動を地域クラブへ完全移行することを目指している。一方で学校現場では部活動の完全移行のニーズが強く、全ての活動を地域クラブへ移行し生徒への公平性を確保したいという側面がある。プログラミング教育は昨今のトレンドであり一部の学校の部活動でも取り入れられているが、教員の指導スキルに依存する側面がありプログラミングの部活動を立ち上げ・継続することが難しい課題がある。これらを満たす、プログラミング教育を軸とした地域クラブを提案する。

トライアル概要

つくば市内の中学校で行う地域クラブとして、プログラミングを用いて課題解決を行うイノベーション部を立ち上げる。活動内容としては、身近な困りごとから、それを解決するためのアイデアを考え、実際にプログラミングでアイデアを実現し、最終的には大会出場やプロジェクトとして推進していくことを目指す。

地域クラブの指導員としては、地域の親世代を雇用する。特に産後の母親はパートタイムの需要が高く、地域の学校に継続的に関わることができ、リスキリングの文脈でもプログラミングスキルを身につけることで新たなキャリアを開いていくことができると考える。

2~3校で、指導員の研修期間2ヶ月と地域クラブの試験実施3ヶ月で検証を行う予定である。活動の際は学校のPC室などの設備を利用し、弊社がオンラインでサポートできる体制を整える。検証項目としては、既存の弊社のカリキュラムと組み合わせた指導員への研修の有効性、提案するイノベーション部としての活動を通して生徒が主体的に活動する環境であるか、地域クラブ運営における課題点や親世代の指導員による監督が可能であるかである。

期待される効果・実現しようとする未来社会

つくば市の地域クラブ完全移行を推進し、教員の負担を軽減することができる。

身近な課題解決を通じたプログラミング教育によって、目的を持って積極的に活動に取り組める場を提供し、子どもたちがプロジェクトを通して「学びながら実践する力」を身につけることができる。そして、つくばスマートシティの未来を背負うSTEM人材を創出し、市の発展に寄与する。

地域の親世代のリスキリングの機会となり、地域人材の活性化が見込める。さらに、地域の親世代が学校で行う地域クラブに関わることで、昨今の地域コミュニティの弱体化という課題も解決でき、地域の助け合い力を向上させる。